

はじめに

奈良県では、ひとりひとりがそのかけがえのなさに気付き、生きる喜びを感じることができる社会づくりをめざして、「いのち」をテーマに人権メッセージ・エピソードを募集しました。

2011年は東日本大震災^{だいしんさい}や台風12号による被害で多くの人々の命^{いのち}が奪^{うば}われたことにより、改めて「いのちと人権」について考える一年となったのではないかと思います。

県内外から寄せられた作品は、友人や家族との日々の中で感じる生きる喜び、いのちの大切さ、かけがえのなさを感じた瞬間^{しゅんかん}などを、それぞれの感性でとらえた、多くの“気付き”を生む内容のものばかりでした。

この『人権メッセージ・エピソード作品集』は応募^{おうぼ}のあったメッセージ1204点、エピソード45点の計1249点から選ばれた入賞作品計36点をまとめたものです。

本作品集によって、一人でも多くの方に、生きる喜びと勇気が届くことを願います。

2012年(平成24年)2月 奈良県人権施策課

※入賞作品は、募集の趣旨にもとづいて、なるべく原文のまま掲載しています。